

常任委員会のしごと

令和2年11月～令和3年3月の動き

常任委員会とは？

- 1 議員が分野別のグループに分かれて、市の仕事について、専門的に議論を行うために設置している。
- 2 5つの常任委員会で、1年を通じて毎月2回程度、会議や調査を行っている。

主な活動内容

- 審査** 本会議で委ねられた議案や、市民の皆様からの要望である請願・陳情を審査する。
- 報告聴取** 市の仕事について報告を聴取し、質疑や議論を行う。
- 一般質問** 担当分野全般にわたり、現状や将来に向けての方針の確認、政策提案等を行う。
- 他都市調査** 他都市の先進的な事例を調査する。
- 実地視察** 主に市内の施設等の現状を把握する。

様々な活動のうち、今回は「報告聴取」と「実地視察」について、紹介します。



総務消防委員会

(井上けんじ委員長)

報告聴取

①大型汎用コンピュータオープン化事業の総括(12/21)

市会から度重なる付帯決議・警告や意見を付してきた、大型汎用コンピュータオープン化事業について、事業の一部中断に至るまでの総括や、国による自治体システムの標準化に合わせた事業の再構築に関して議論しました。

②今後の行財政改革の視点及び主な改革事項(1/12)

危機的な財政状況の中で持続可能な市政運営を実現するため、令和3年度から取り組む支出の見直しや受益者負担の適正化など、行財政改革の6つの具体的な視点について議論しました。



委員会質疑

文化環境委員会

(平山よしかず委員長)

報告聴取

①「京都市地球温暖化対策計画<2021-2030>」(案)に関する市民意見等の募集(1/19)

「2050年二酸化炭素排出量正味ゼロ」等の実現に向け、今後10年間の具体的な取組を記載した地球温暖化対策計画案について、市民意見等の募集に向けた議論をしました。

②「第5次京都市男女共同参画計画(案)」に関する市民意見の募集(3/19)

令和3年度以降の次期計画の策定に当たり、「真のワーク・ライフ・バランス」推進等の重点的な取組項目や目標数値等の計画案について、市民意見の募集に向けた議論をしました。



委員会質疑

教育福祉委員会

(さくらい泰広委員長)

年間テーマ 「教育福祉行政に係る新型コロナウイルス感染症対策」及び「インクルーシブ教育」

報告聴取

①所得割失格者減免の見直しに係る福祉施策への影響(11/11)

市税条例の一部改正に伴い廃止される所得割失格者減免について、福祉施策利用者の急激な負担増を緩和する経過措置の検討状況等について議論しました。

②新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施に向けて(1/27)

新型コロナウイルスワクチン接種の優先順位やスケジュール、市民からの相談体制等、速やかな接種の実施に向けた準備状況について議論しました。



委員会質疑

まちづくり委員会

(中野洋一委員長)

年間テーマ 「みどり豊かな都市環境の創出」

報告聴取

①「京都市市街化調整区域における地区計画運用基準」改定案に関する市民意見募集の結果(2/4)

市街化調整区域を「緑豊かなエリア」と位置づけ、持続可能で魅力と活力あるまちづくりを進めるための改定案について、市民等からの意見を基に議論しました。

②土木事務所の機能強化(3/19)

頻発・激甚化する災害への的確な対応と道路、河川、公園、街路樹など全ての公共土木施設を一元的に管理するための土木事務所とみどり管理事務所の統合等による機能強化について議論しました。



委員会質疑

産業交通水道委員会

(しまもと京司委員長)

報告聴取

「令和2年度京都市交通局経営レポート」、各種割引乗車券の抜本的な見直し(案)(12/25)

コロナ禍で危機的な経営状況にある市バス・地下鉄事業について、市民の足を守るための経営上の取組や安定的な経営を実現するための割引乗車券の見直しについて議論しました。

実地視察

鳥羽水環境保全センター(1/8)

技術の維持・継承や担い手の育成を目的とした下水道技術研修施設や運営開始前の下水汚泥固形燃料化施設について説明を受け、排水設備の維持管理方法等を見学しました。



実地視察